

1

のか

い

た

に

死

9

起きてても尚、私は眠い

あの絵画のように
ゆつくりと

死に向かうのだと思う
体温は下がり続けている
己のすべてを無防備にして
なにかに接続する

かわるがわるさんざめく

歯車は大きく回転し

時代は逆行する

時間は後退する

私は……

↑
記　そ　。

し　っ　く

残す　もと置　中に

←私は　　　　　室の→

私の　をとた　機械

別　っ　び

特　　そ　　古

↓

「迷っていた

何度も諦めることにした

だけれど、向こうは

簡単なことばでしか言えない

『綺麗』

だった」

もはや魅入られた私の瞳に

才色は映らない
きっと私の愛する人は
この激しい痛みを守るのだろう
ならば私は反逆的に
世の理に共有しよう

日々、命日

あるかわからぬ天国崩し
あるかわからぬ地獄焼き

日々、命日

今際の際で感激する
痛みの積を解放せよ

日々、命日

あなたの痛みは私を感じる
私の痛みはあなたが感じる

日々、命日

煮え
滾れ

日々、

私の命の日
あなたの命の日

日々、命日

2025 年 2 月 23 日 執筆

著 者 やさかれい
八坂 零

掲 載 芸術の星座
